

公益社団法人2025年日本国際博覧会協会
2022年度 事業計画書
(2022年4月1日から2023年3月31日まで)

2022年度の事業計画について、次の視点から策定する。

- 1 参加招請活動及び公式参加者への対応の実施
- 2 博覧会の計画の具体化
- 3 博覧会の機運醸成に関する事業の実施
- 4 事務局体制の整備・強化と財政基盤の確立

主な事業については、以下のとおり

- 1 参加招請活動及び公式参加者への対応の実施

- (1) 参加招請への取組

- ア 政府、関係機関と連携しながら招請活動を展開する
 - イ 万博の成功に向け、博覧会国際事務局（BIE）と連絡・調整を行う
 - ウ IPM（International Planning Meeting：国際企画会議）を開催し、参加招請対象国等に対し、最新情報を提供するとともに、理解促進、出展招請、機運醸成を図る

- (2) 公式参加者への支援対応

- ア 特別規則について、政府と連携を図り2022年中にBIE総会での承認を得る
 - イ 公式参加者の円滑な業務を支援するため、相談対応や手続処理等を一元的に行う公式参加者ワンストップショップの構築を進める
 - ウ 公式参加者用の宿舎について、広く関係者の協力を得ながら、確保に向けた検討を進める

- (3) 途上国支援プログラムの構築

- ア JICA、JETROをはじめ関係機関等との連携を図りながら、政府と予算協議を行い、支援プログラムの検討を進める

- 2 博覧会の計画の具体化

- (1) 企業・団体等の参加への対応

- ア 企業・団体等は、ともにテーマの実現を目指すパートナーであり、これまでの万博よりも幅広い参加ができるよう、多様な参加メニューを用意する事で、多くの参加を促す
 - イ 民間パビリオン出展参加者とともに、魅力あふれるパビリオンの実現に向け、協議を重ねる

(2) 協会テーマ事業の具体化

- ア テーマ事業の建築計画・展示企画等の具体化をプロデューサーと協働して行う
- イ 万博の機運醸成にも資する、テーマ事業の効果的な PR 活動を展開する

(3) 未来社会ショーケース事業の具体化

- ア スマートモビリティ万博
会場内外における人荷の輸送・移動等における未来技術の実証・実装のため、企業・団体等の参加を促す
- イ デジタル万博
来場者体験の高度化や会場運営の効率化に資するデジタル技術の実証・実装のため、企業・団体等の参加を促す
- ウ バーチャル万博
国内外の幅広い層が万博を疑似体験できるバーチャル技術の実証・実装のため、企業・団体等の参加を促す
- エ アート万博
会場の景観や歩径路などを、先進エンタテインメント技術の実証・実装する催事の場ととらえ、企業・団体等の参加を促す
- オ グリーン万博
万博運営および経済活動全般における環境負荷低減技術の実証・実装のため、企業・団体等の参加を促す
- カ フューチャーライフ万博
会場内「フューチャーライフパーク」で未来の都市や衣食住等のありかたを提言するため、企業・団体等の参加を促す

(4) 会場整備

- ア 会場施設の実施設設計
- イ 仮設インフラ工事の着手
- ウ 環境影響評価書・事後調査計画書の作成、提出、事後調査の着手
- エ 障がい当事者の参画によるユニバーサルデザインの取組みの実施

(5) 来場者輸送対策の具体化

- ア 来場者輸送対策協議会にて、施設管理者や交通事業者等とともに輸送計画の具体化を推進
- イ 会場外駐車場の設計に着手

(6) 催事計画の策定

- ア 万博に相応しい行催事の概要や編成方針、推進体制などを検討し、催事基本計画を策定する
- イ 催事基本計画に沿って、行催事の計画・企画を推進する

- (7) 持続可能性管理システム（ESMS）の構築と運用
 - ア 持続可能性方針を踏まえ、個別目標や取り組み事例について検討・整理し、万博の持続可能な運営に係る計画を策定・公表する
 - イ 物品やサービスの調達プロセスにおける持続可能性への配慮を図るため、持続可能性に関する基準や担保方法等について継続的に検討を行う

- (8) 万博 I C Tシステムの整備
 - ア 万博 I C T-P Fシステム（S T E P 1）の構築に向けた開発を開始する
 - イ サイバーセキュリティ基本計画を策定し、セキュリティ関連システム構築、運用に向けた検討を行う

- (9) 万博通信インフラの整備
 - ア 情報通信インフラ基本設計に基づき、インフラ構築に向けた詳細設計を行う
 - イ 信頼性向上を目的とした夢洲会場への異経路通信線引き込みの調整を行う

- (10) 来場者サービス・会場管理の具体化
 - ア 来場者サービスやサービス施設、サービス提供体制の検討
 - イ 情報提供サービスの検討
 - ウ ユニバーサルサービスの検討
 - エ ボランティアの検討
 - オ 迎賓・接遇の検討
 - カ 清掃・廃棄物処理等、会場管理の検討
 - キ 営業施設の配置や事業収支の検討
 - ク 場内輸送、物流の検討

- (11) 入場・チケットング制度の構築
 - ア 入場券の販売制度（券種・価格・販売枚数・購入方法等）や販売計画（戦略・体制等）及び販売管理システム構築
 - イ パビリオン入館制度構築

- (12) 危機管理体制の構築
 - ア 会場警備対策
 - イ 災害対策
 - ウ 保健衛生対策
 - エ 事業リスク対策

- 3 博覧会の機運醸成に関する事業の実施
 - (1) 戦略的 P Rの実施
 - ア ロゴマークやキャラクターを活用したライセンス事業の展開
 - イ アンバサダーを活用した機運醸成活動の実施

- ウ スペシャルサポーターの選定
- エ テーマソングの作成・発表
- オ 小・中学生向け教育プログラム事業の実施

(2) 機運醸成のための各種プログラム、イベントの実施

- ア TEAM EXPO 2025 プログラムの推進
- イ 自治体と連携したイベントなどの実施
- ウ 開幕3年前イベントや1000日前イベントなどの実施

(3) 広報活動の実施

- ア 各種メディアを活用した広報の実施
- イ 公式ホームページ、公式 SNS 等での多言語展開による国内外への情報発信

4 事務局体制の整備・強化と財政基盤の確立

(1) 事務局体制の整備・強化

- ア 事務局体制の整備・強化、国・経済界・自治体などからの業務に応じた専門人材の確保等
- イ 効率的・効果的な組織体制のあり方等の検討

(2) 財政計画の策定と予算の効率化・効果的な執行

- ア 博覧会基本計画に沿った資金の調達・運用等
- イ 予算執行段階における事業実施方法の検証、コスト削減

(3) 財政基盤強化に向けた具体的な資金調達

- ア 寄附金の募集・拡充に向けた取り組み
- イ 補助金等各種資金の活用